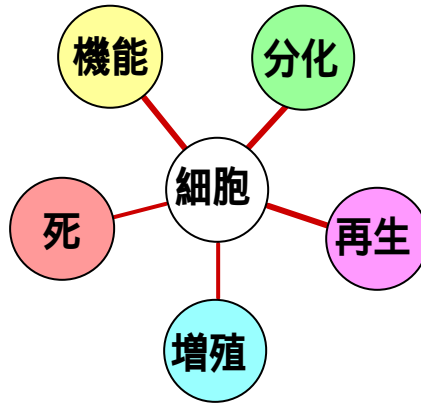


大 学 名	秋 田 大 学	学 問 分 野	生 命 科 学
専 攻 等 名	大 学 院 医 学 研 究 科 ・ 構 造 機 能 系 専 攻 ・ 内 科 系 専 攻		
拠 点 の プ ロ グ ラ ム 名 称	細 胞 の 運 命 決 定 制 御		
拠 点 リ ー ダ ー 名	稲 垣 暢 也	所 属 部 局 ・ 職	医 学 研 究 科 ・ 教 授
プ ロ グ ラ ム の 概 要	<p>細胞はさまざまなシグナルによって、分化・機能発現、再生、増殖、死といった運命が決定づけられる。本プログラムではこのような細胞の運命決定制御のメカニズムを明らかにすることを目指す。</p>		
拠 点 形 成 の 目 的 ・ 必 要 性	<p>細胞は、さまざまなシグナル伝達を介して分化・機能発現、再生、増殖、死などの運命決定をひきおこす。また、生体の代謝状態の変化はこれらの運命決定機構を修飾することにより、生体の恒常性を維持している。これらのシグナル変換の異常は、生体において、発生異常、発がん、機能異常を含むさまざまな疾患を引きおこすことから、細胞の運命決定制御機構の解明は病態の解明につながる。本目的を達成するためには、分子生物学的手法や生理学的手法などさまざまな手法を駆使して研究を行う必要がある。本研究拠点を形成することにより、世界のなかでもリーダーシップを発揮できるような学術的水準の高い研究成果が期待できる。また、地方大学における拠点形成のモデルとして社会的意義も大きい。</p>		
研 究 拠 点 形 成 実 施 計 画	<p>本プログラムでは推進担当者である6名からなるチームを核として、公募型の3つのプロジェクトチームを新たに作り込んで研究教育拠点を形成する。公募型プロジェクトチームに関しては、各チームに助教授あるいは助手に相当する若手の主任研究員を国内外から採用し、研究室と研究費を保証し、さらにポストクを配置することによって独立した研究環境を提供する。また、本プログラムを担当する講座にもできる限りポストクを配置する。</p>		
教 育 実 施 計 画	<p>大学院生に関しては、リサーチアシスタントやティーチングアシスタントの手当てを支給することにより、本プログラムの実施にともなう研究教育の支援を行う。ポストクに関しても学内における制度を整備する。また、大学院生やポストクの海外での学会発表や短期留学に対して積極的に経済的支援を行う一方で、国際共同研究の推進、国際会議の開催、海外からの積極的な研究者の招へいなどを通して、国際性豊かな研究者を育成する。さらに、本拠点を中心に積極的に地域連携や企業との共同研究連携を推進することにより、広い視野を有する若手研究者を育成する。</p>		

細胞の運命決定制御

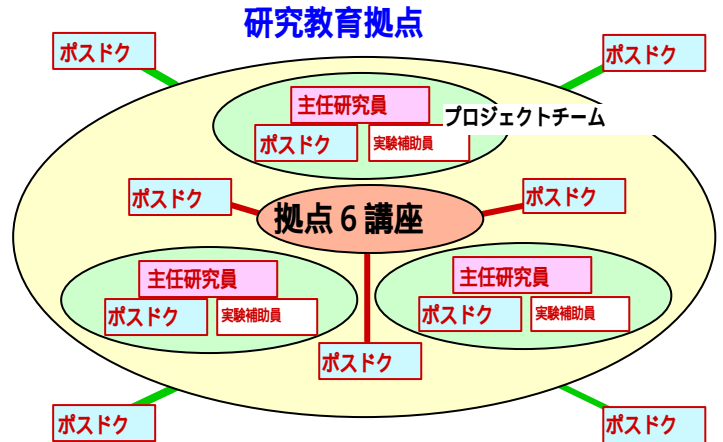
細胞の運命決定に関わるシグナル変換メカニズムを生理学的、生化学的、分子生物学的、細胞生物学的、発生工学的手法などを用いて明らかにする



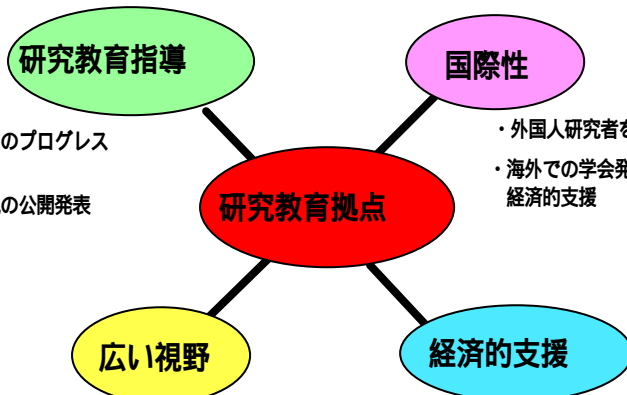
研究教育活動

6人の拠点研究者の協力・指導のもと、独立した研究環境を保障したプロジェクトチームを編成

プロジェクトチームのほか、拠点を中心にポストドクを配置



大学院教育および若手研究者の育成



- ・ 全員参加のプログレスレポート
- ・ 研究状況の公開発表

- ・ 外国人研究者を積極的に採用
- ・ 海外での学会発表や海外派遣の経済的支援

- ・ 企業や地域との連携推進

- ・ 生活費や研究費の支援